

県指定・大雄寺鐘堂



<http://digitalarchiveproject.jp/information/> 県指定・大雄寺鐘堂



〈県指定〉昭和 48 年 6 月 13 日

〈所有者〉大雄寺

〈所在地〉愛宕町 67 番地

〈時代〉元禄 2 年(1689)2 月

〈員数〉1 棟

鐘楼(1 棟)地の間寸法 3.45m 正方形、木造入母屋造、銅平板葺、斗拱 3 ッ斗(と)組、間(けん)斗(と)束(づか)、天井鏡天井、基壇上に建つ

大雄寺記に、「鐘楼 第十世超誉白翁大和尚 元禄二己巳二月建之 四月屋根葺終 棟梁松田又兵衛、古橋長左右衛門、松山孫太郎、松田長次郎、古橋九右衛門、葺師越中富山橋本甚兵衛、橋本次右衛門、橋本忠右衛門」と記載されている。屋根は昭和 49 年、柿(こけら)葺(ぶき)であったのを修理し、銅平板葺に改めた。

二軒(ふたのき)・繁(しげ)垂(だる)木(き)の軒廻りでありながら、他は簡素な手法で建てられる。木割が太くて柱転びもよく、柱頭(かしら)貫(ぬき)端の唐草彫刻も力強い。3 斗組の組物上に勾配(こうばい)、反(そ)りともによくまとまりを持った入母屋造りの屋根を持つ堂々たる建物である。

この地方最古の鐘楼である。

参考文献

『高山の文化財』32 頁 高山市教育委員会発行 平成 6 年



001_①鐘堂建物001



002_①鐘堂建物002



003_①鐘堂建物003



004_①鐘堂建物004



005_①鐘堂建物005



006_①鐘堂建物006



007_①鐘堂建物007



008_①鐘堂建物008



009_②鐘001



010_②鐘002



011_②鐘003



012_②鐘004



013_②鐘005



014_②鐘006



015_②鐘007



016_②鐘008



017_③土台部001



018_③土台部002



019_③土台部003



020_③土台部004



021_③土台部005



022_③土台部006



023_③土台部007



024_④全景001



025_⑤説明板001



026_⑥大雄寺・境内四方001



027_⑥大雄寺・境内四方002



028_⑥大雄寺・境内四方003



029_⑥大雄寺・境内四方004



030_⑥大雄寺・境内四方005



031_⑥大雄寺・境内四方006



032_⑥大雄寺・境内四方007



033_⑥大雄寺・境内四方008



034_⑥大雄寺・境内四方009



035_⑥大雄寺・境内四方010



036_⑥大雄寺・境内四方011